

今年度の日程が決まりました。OWAF ホームページ <http://osaka-rousan.com/kyouikusoutai/schedule.html> に申し込み受付と案内があります。たくさんの方々のご参加をお待ちしています。

2018年度 大阪労山スタンプ制単発講習会

日付		講座	種別		主講師	定員
4月10日	(火)	岩登りの確保	入門編	座学	中川和道	20
4月15日	(日)	岩登りの確保	入門編	実技	中川和道	10
4月23日	(月)	パーティー論リーダー論	入門編	座学	中川和道	35
5月9日	(水)	夏山登山と気象	入門編	座学	山本賢治	35
5月22日	(火)	地形図の読み方	入門編	座学	脇阪	16
5月27日	(日)	地形図の読み方	入門編	実技	脇阪	16
5月29日	(火)	夏山登山と気象	リーダー認定	座学	高田和孝	5
6月5日	(火)	応急手当	入門編	座学/実技	柳川憲一	20
6月19日	(火)	遭難事例研究(無雪期)	入門編	座学	中川和道	35
6月26日	(火)	天気予報の利用方法	専門講座	座学	河野仁	35
7月24日	(火)	遭難事例研究(無雪期)	リーダー認定	座学	中川和道	5
9月25日	(火)	ハイキングレスキュー	入門編	座学	日高博	20
9月30日	(日)	ハイキングレスキュー	入門編	実技	日高博	20
10月10日	(水)	パーティー論リーダー論	入門編	座学	中川和道	35
10月23日	(火)	ハイキングレスキュー	リーダー認定	座学	日高博	10
10月28日	(日)	ハイキングレスキュー	リーダー認定	実技	日高博	10
10月30日	(火)	冬山登山と気象	入門編	座学	山本賢治	35
11月6日	(火)	地形図の読み方	初級編	座学	脇阪	16
11月11日	(日)	地形図の読み方	初級編	実技	脇阪	16
11月13日	(火)	遭難事例研究(積雪期)	入門編	座学	中川和道	35
11月27日	(火)	冬山登山と気象	リーダー認定	座学	高田和孝	5
12月5日	(水)	遭難事例研究(積雪期)	リーダー認定	座学	中川和道	5
12月11日	(火)	地形と乱流	専門講座	座学	河野仁	35
1月22日	(火)	応急手当2	入門編	座学/実技	平井和雄	35

岩登りの確保

入門コース（座学）4/10

アルパインクライミングに用いられる制動確保を中心に、無雪期の岩登りの確保理論の入門講義を行います。フリークライミング・室内壁の確保はやりません。大阪府連での事故事例も紹介します。申込者には座学用のテキストを事前にメール配信しますので、よく読んで座学に参加して下さい。講義だけでなく実技への参加も強くお勧めします。

入門コース（実技）4/15

座学で学んだ知識を実行できるよう実技トレーニングを行います。大阪府連の〇氏開発による衝撃力測定装置で中間支点にかかる力を時間の関数として測定し、制動をかけられるように訓練します。ご参加の記念にその美しいグラフ（衝撃力-時間）をぜひお持ち帰り下さい。

パーティー論リーダー論

入門コース（座学）4/23

山に登るにはリーダーが必要です。カリスマリーダー、持ち回りリーダー、輪番リーダーという言葉聞いたことがありますか？コーチとリーダーはどう違うのでしょうか？パーティーのメンバーとリーダーの関係を、実践論、法律論などから考えていくための入門講義を行います。滅私奉公のリーダー論をやめて、輪番リーダーという新たなリーダーとメンバーを目指しましょう。今回の入門講義では、以下の文献をあらかじめ読んできていただくとより効率的だと思います。ご参加申込の方には座学用のテキストを事前にメール配信します。みなさま、ふるってご参加下さい。

文献1.「大阪労山ニュース」2016年10月号 中川和道「大阪府連における登山者養成：大阪の新たな挑戦 2016 その1」

文献2.「登山時報」2013年1月号、大阪労山ニュース2013年1月号2月号3月号「溝手氏講演会『登山と法律』の記録」

登山と気象

入門コース（座学）5/9

夏山の気象に関する基礎的な事項を夏山の特徴をまじえながら解説をします。また、一般に入手できる地上天気図、高層天気図、天気予報などから山の天候をどう予想するかを解説します。

リーダー認定コース（座学）5/29

過去の夏山気象遭難の事例を取り上げ、その経過を簡潔にまとめ、事故に至った分岐点（しばしは複数）を考察し、事故を防止する方策を自分で解析して事前にレポートを作成していただきます。当日はそれを互いに発表しあい討論を深めます。

地形図の読み方

入門コース（座学 5/22 実技 5/27）実技と座学セットで受講ください。

山で道に迷うことは何としても避けたいことのひとつです。登山を安全に楽しむためにも、地形図を読む力をぜひ身につけましょう。地形図が読めるようになると、山へ行く前に歩くルート全体を見て、危険なところ、道に迷いやすそうなところなどを前もって知ることができ、対策を考えておくこともできます。（地形図とは、国土地理院の2万5千分の1地形図のことです）座学では、等高線とその読みかた、方位磁針（コンパス）の使い方、地形図をネットから印刷する方法など、読図の基礎から学習します。実技は近郊の里山へ登ります。周りの地形（尾根や谷、ピーク）と地形図を見比べながら歩き、等高線の奥深さを少しずつ理解していきます。地形図を読む楽しさをぜひ体験してみてください。

◇準備物（座学当日ご用意ください）筆記具、ベースプレートコンパス（例、シルバコンパス No.3）、赤と青など2色の色鉛筆（または色ペン）